



大阪大学・科学記者クラブ 御中

公立大学法人大阪市立大学

## 大阪発の線維化治療薬の開発をめざして 「第1回 線維症に関する勉強会」を開催

大阪市立大学医学研究科では、「線維症」を共通する研究課題の一つとしてあげています。産学連携推進本部では、「医工連携」をキーワードとして、「線維症に関する勉強会」を立ち上げ、産学からさらなる研究チームおよび各種支援機関との間でコンソーシアムを形成することにより、大阪発の線維化治療薬の開発へとつなげていきます。

線維症は色々な疾患の臓器で静かに進行しています。線維化が続くと組織の構造を破壊し、肺線維症、肝線維症、腎臓組織の線維化、心臓の線維化などを起こして臓器の機能低下を招きます。

線維化は慢性的な外因性・内因性ストレス刺激により慢性炎症が生じ、組織のリモデリングが起こり、臓器の線維化の発症・進展を伴って臓器障害に至ります。各臓器での線維化は共通の分子機構を介して起こすと考えられています。

勉強会の第1回目は、本学の線維症に関する研究成果発表を行い、学内外の参加者間で情報共有を行うことを目的とします。本学の教員を中心に多方面の研究者が集まり研究成果を共有することにより、線維化の分子機構の解明、臓器・疾患の特異性、治療標的分子の探索などの研究を進展させると同時に、臨床検体を用いた研究や、ヒト病態モデル動物での研究を行うことにより線維化の病態解明と治療薬の開発を目指します。多くの研究者、企業の方々の参加をお待ちしております。

記

### 第1回 線維症に関する勉強会

- 日時 平成24年7月11日(水) 午後6時～8時(受付開始17時30分)
- 場所 大阪市立大学 阿倍野キャンパス 医学部学舎4階 中講義室  
(大阪市阿倍野区旭町1-4-3)
- 主催 大阪市立大学 産学連携推進本部
- 後援 大阪商工会議所、大阪医薬品協会
- 参加費 無料
- 定員 80名
- 参加申込 不要

■プログラム

18 : 00～18 : 05 開会挨拶

医学研究科 分子病態薬理学 教授・特命副学長 岩尾 洋

18 : 05～18 : 25 星細胞から見出したサイトグロビンの肝炎症・線維化への関与

医学研究科 肝胆膵病態内科学 教授 河田 則文

18 : 25～18 : 45 シス테인修飾物質による臓器線維化病態の抑制・治療とその機序

医学研究科 肝胆膵外科学 講師 竹内 茂一

18 : 45～19 : 05 高血圧性心肥大ラットに対して抗線維化薬は血圧非依存的に心保護作用を示す

医学研究科 分子病態薬理学 准教授 泉 康雄

19 : 05～19 : 25 新規 miRNA 阻害剤と高性能化 siRNA/miRNA について

工学研究科 バイオ工学 准教授 立花 亮

19 : 30～20 : 00 名刺交換会

以上

【内容に関するお問い合わせ先】

大阪市立大学 産学連携推進本部

新産業創生研究センター 樋口

TEL : 06-6645-3887 FAX : 06-6645-6125

【報道に関するお問い合わせ先】

大阪市立大学 広報室 小澤・勝井

TEL : 06-6605-3570

FAX : 06-6605-3572

第1回

# 線維症に関する勉強会

【主催】大阪市立大学 産学連携推進本部 【後援】大阪商工会議所、大阪医薬品協会

【日時】平成24年7月11日(水) 18:00~20:00

【場所】大阪市立大学 医学部 学舎4階 中講義室

## 【プログラム】

18:00~18:05

### 開会挨拶

医学研究科 分子病態薬理学 教授・特命副学長 岩尾 洋氏

18:05~18:25

### 星細胞から見出したサイトグロビンの 肝炎症・線維化への関与

医学研究科 肝胆膵病態内科学 教授 河田則文氏

18:25~18:45

### システイン修飾物質による 臓器線維化病態の抑制・治療とその機序

医学研究科 肝胆膵外科学 講師 竹村茂一氏

18:45~19:05

### 高血圧性心肥大ラットに対して 抗線維化薬は血圧非依存的に心保護作用を示す

医学研究科 分子病態薬理学 准教授 泉 康雄氏

19:05~19:25

### 新規miRNA阻害剤と 高性能化siRNA/miRNAについて

工学研究科 バイオ工学 准教授 立花 亮氏

19:30~20:00

### 名刺交換会

大阪市立大学 産学連携推進本部 新産業創生研究センター

TEL:06-6645-3887 FAX:06-6645-6125

Innovation to the world from Osaka